

中 水 経 第 1 2 号

令 和 2 年 5 月 29 日

中津川市長 様

環境水道部長 高橋 淳一

業務状況説明書の提出について

中津川市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例第7条の規定による業務の状況を説明する書類の作成のため、別紙のとおり報告します。

記

1. 令和元年度 中津川市水道事業会計下半期業務及び経理の状況
2. 令和2年度 中津川市水道事業会計予算の概要及び経営方針
令和2年度 中津川市下水道事業会計予算の概要及び経営方針

*** 業務状況説明書 ***

環境水道部 水道経営課

令和元年度 中津川市水道事業会計下半期業務及び経理の状況

下半期における業務状況は、配水量約5,985千 m^3 （内訳 自己水約2,334千 m^3 県水約3,651千 m^3 ）でした。

また、1日平均配水量は、約32,705 m^3 となり、有収水量については、約4,418千 m^3 となりました。

水道事業を取り巻く状況は、人口減少や節水型機器の普及などにより有収水量の大幅な伸びは期待できない中ではありますが、

令和元年度決算は、27,661千円の純利益となりました。

厳しい経営状況ではありますが、今後も長期的な収支計画を策定し、安全で安心な水の安定供給と効率的な企業運営に努めます。

また、老朽化や経年劣化した施設の更新、さらに災害に強い水道施設の構築のため、管路耐震化工事を進め、水道水の安定供給を目指します。

令和元年度 中津川市水道事業会計損益計算書 (税抜き)

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

1 営 業 収 益		
(1) 給 水 収 益	1,718,073,224	
(2) 受 託 工 事 収 益	0	
(3) その他の営業収益	<u>57,997,024</u>	1,776,070,248
2 営 業 費 用		
(1) 原 水 及 び 浄 水 費	764,358,782	
(2) 配 水 及 び 給 水 費	346,991,236	
(3) 受 託 工 事 費	0	
(4) 総 係 費	165,705,449	
(5) 減 価 償 却 費	706,230,005	
(6) 資 産 減 耗 費	<u>19,403,456</u>	<u>2,002,688,928</u>
営 業 利 益		△226,618,680

(単位:円)

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	591,196	
(2) 他会計負担金	23,869,000	
(3) 長期前受金戻入	284,692,152	
(4) 雑収益	<u>939,439</u>	310,091,787

4 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	51,705,512		
(2) 雑支出	<u>4,698,285</u>	<u>56,403,797</u>	<u>253,687,990</u>

経常利益 27,069,310

5 特別利益

(1) 退職給付引当金戻入益	<u>592,114</u>	<u>592,114</u>
----------------	----------------	----------------

6 特別損失

(1) その他特別損失	<u>0</u>	<u>0</u>
-------------	----------	----------

当年度純利益 27,661,424

令和元年度 中津川市水道事業会計貸借対照表 (税抜き)

(令和2年3月31日)
資 産 の 部

(単位:円)

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		173,720,129	
ロ 建 物	366,414,733		
減価償却累計額	<u>△130,216,825</u>	236,197,908	
ハ 構 築 物	21,628,471,815		
減価償却累計額	<u>△7,712,326,183</u>	13,916,145,632	
ニ 機 械 及 び 装 置	2,000,600,904		
減価償却累計額	<u>△1,003,594,809</u>	997,006,095	
ホ 車 両 運 搬 具	17,875,887		
減価償却累計額	<u>△14,934,878</u>	2,941,009	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	41,751,433		
減価償却累計額	<u>△21,015,071</u>	20,736,362	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>79,067,711</u>	
有形固定資産合計			15,425,814,846

(2) 無形固定資産

イ 電 話 加 入 権		9,800	
ロ 施 設 利 用 権	103,046,387		
減価償却累計額	<u>△52,128,439</u>	<u>50,917,948</u>	
無形固定資産合計			50,927,748

(3) 投資その他の資産

イ 投 資 有 価 証 券		100,000,000	
ロ 出 資 金		<u>308,700</u>	
投資その他の資産合計			<u>100,308,700</u>

固 定 資 産 合 計 15,577,051,294

(単位:円)

2	流 動 資 産			
(1)	現 金 預 金		1,261,650,869	
(2)	未 収 金	222,162,552		
	貸 倒 引 当 金	<u>△1,351,017</u>	220,811,535	
(3)	貯 蔵 品		4,802,670	
(4)	前 払 金		<u>42,720,000</u>	
	流 動 資 産 合 計			<u>1,529,985,074</u>
	資 産 合 計			<u>17,107,036,368</u>

負 債 の 部

3	固 定 負 債			
(1)	企 業 債			
	イ 建設改良費に充てる企業債	<u>2,812,484,792</u>		
	企 業 債 合 計		2,812,484,792	
(2)	引 当 金			
	イ 退職給付引当金	109,651,778		
	ロ 修繕引当金	<u>42,896,715</u>		
	引 当 金 合 計		<u>152,548,493</u>	
	固 定 負 債 合 計			2,965,033,285

(単位:円)

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費に充てる企業債

276,338,566

企業債合計

276,338,566

(2) 未払金

264,383,882

(3) 預り金

110,502,127

(4) 引当金

イ 賞与引当金

6,147,666

ロ 法定福利費引当金

1,045,104

引当金合計

7,192,770

流動負債合計

658,417,345

5 繰延収益

(1) 長期前受金

イ 国庫(県)補助金

2,114,587,943

収益化累計額

△916,004,623

1,198,583,320

ロ 受贈財産評価額

897,967,598

収益化累計額

△328,513,114

569,454,484

ハ 工事負担金

7,180,976,289

収益化累計額

△3,482,277,479

3,698,698,810

繰延収益合計

5,466,736,614

負債合計

9,090,187,244

資 本 の 部

(単位:円)

6 資 本 金

7,146,776,277

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 国 庫 (県) 補 助 金

8,591,708

ロ 受 贈 財 産 評 価 額

991,074

ハ 工 事 負 担 金

36,377,000

資 本 剰 余 金 合 計

45,959,782

(2) 利 益 剰 余 金

イ 当 年 度 末 処 分 利 益 剰 余 金

824,113,065

利 益 剰 余 金 合 計

824,113,065

剰 余 金 合 計

870,072,847

資 本 合 計

8,016,849,124

負 債 資 本 合 計

17,107,036,368

令和2年度 中津川市水道事業経営方針

水道水の安定供給は水道事業の使命であり、そのために必要な施設の新設、経年劣化した施設の更新等を「中津川市水道事業経営戦略」に基づき進めています。また、水道事業経営の健全化を目指し、今後の経営の在り方を「中津川市上下水道事業経営審議会」で審議・答申いただき、経営戦略の見直しにも反映することで、経営改善を進めていきます。

有収水量の増減に関しては、リニア中央新幹線岐阜県駅の建設、それに伴う開発、企業誘致等による給水量の増加は見込めるものの、節水意識が浸透する中、給水人口の減少もあり、水道水の大幅な需要拡大には繋がらない状況にあります。

このような状況の中で、配管図作成業務や漏水調査等を行い、老朽化した管路等の計画的な更新を進め、有収率の改善を図るとともに水道施設の耐震化を図り、災害に強く、安全で安定した品質の水道水を供給し、健全な経営を続けて行く努力をします。

また、経費削減のために、下水道工事など他事業の工事に合わせて耐震化工事を進めることで工事費の効率的な執行を図るとともに、官民連携によって民間の技術・知識を活用し、料金徴収関連業務、施設運転維持管理業務、各種計画策定業務等を委託することで水道事業の効率化、経営基盤の強化を行います。

令和2年度 中津川市水道事業会計予算概要（税込み）

（収益的収入及び支出）

収 入		目		予 定 額
科				
第 1 款	水道事業収益			2,264,874 千円
第1項	営業収益			1,934,672 千円
第2項	営業外収益			330,201 千円
第3項	特別利益			1 千円
支 出		目		予 定 額
科				
第 1 款	水道事業費用			2,262,874 千円
第1項	営業費用			2,187,729 千円
第2項	営業外費用			55,144 千円
第3項	特別損失			1 千円
第4項	予備費			20,000 千円

（資本的収入及び支出）

収 入		目		予 定 額
科				
第 1 款	資本的収入			639,433 千円
第1項	企業の債権			340,000 千円
第2項	出資金			67,447 千円
第3項	補助金			28,450 千円
第4項	工事分担金及び負担金			157,035 千円
第5項	受託金			46,500 千円
第6項	固定資産売却代金			1 千円
支 出		目		予 定 額
科				
第 1 款	資本的支出			1,396,281 千円
第1項	建設改良費			1,119,942 千円
第2項	企業債償還金			276,339 千円

（資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額
調整額 70,316 千円及び過年度損益勘定留保資金

756,848 千円は、消費税及び地方消費税資本的収支
686,532 千円で補てんするものとする。）

令和2年度 中津川市下水道事業経営方針

令和2年度から地方公営企業法の全部適用により、これまで公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の4つの特別会計で予算執行してきたものを一つの下水道事業会計として企業会計方式で予算を編成しました。

地方公営企業法の適用により固定資産台帳を整備し、資産情報に基づき計画的な施設・設備の更新、適切に資産を維持・管理し、経営の健全化に努めます。

また、経営のあり方について「中津川市上下水道事業経営審議会」で令和元年度に引き続きご審議いただき、経営戦略の見直しを行います。

主な事業

- ・ リニア開業に向けて坂本地区の下水道の整備
- ・ 青木斧戸線整備に合わせ中津地区の下水道の整備
- ・ 農業集落排水処理施設・設備の長寿命化対策事業
- ・ 管渠長寿命化対策事業
- ・ 下水道施設・設備ストックマネジメント計画の策定
- ・ 水洗化促進事業

令和2年度 中津川市下水道事業会計予算概要（税込み）

（収益的収入及び支出）

収入		目					予 定 額
科							
第 1 款	下水事業	事業	収入	益			3,346,048 千円
	第1項	営業	収入	益			1,109,714 千円
	第2項	営業	外 収	益			2,236,333 千円
	第3項	特 別	利	益			1 千円
支出		目					予 定 額
科							
第 1 款	下水事業	事業	費用				3,518,556 千円
	第1項	営業	費用				2,925,305 千円
	第2項	営業	外 費				407,481 千円
	第3項	特 別	損				165,770 千円
	第4項	予 備	費				20,000 千円

（資本的収入及び支出）

収入		目					予 定 額
科							
第 1 款	資本的	収入					953,395 千円
	第1項	企業	業				224,200 千円
	第2項	出 資					438,775 千円
	第3項	補 助					111,959 千円
	第4項	負 担					178,460 千円
	第5項	固 定 資 産 売 却 代 金					1 千円
支出		目					予 定 額
科							
第 1 款	資本的	支出					2,343,700 千円
	第1項	建設	改 良				571,207 千円
	第2項	企業	債 償 還				1,770,543 千円
	第3項	過 年 度 返 還					1,950 千円

（資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額
調整額 15,807 千円、当年度損益勘定留保資金 1,390,305 千円は、消費税及び地方消費税資本的収支
で補てんするものとする。） 1,064,417 千円及び引継金 310,081 千円

地方公営企業法施行令第4条第4項の規定により当該事業年度に属する債権及び債務として整理する未収金及び未払金の金額は、それぞれ 112,006 千円及び 334,542 千円である。